

特定非営利活動法人 市民活動情報センター・第2回教育創生フォーラム

人が幸せになる大学の創生をめざして
～コロナ禍の今こそ、未来へ向けて～

中小企業家同友会全国協議会・副会長
愛知中小企業家同友会・相談役理事
学校法人 東邦学園・理事
エイベックス株式会社 代表取締役会長
加藤 明彦 <http://www.avex-inc.co.jp>

1. 中小企業の特徴を生かした経営のあり方の理解（社会における「中小企業の存在価値」を知る）

*社長は、組織全体及び一人ひとりの社員が見える【個性を生かした全体最適化】

*社長は、会社経営に人生を掛けている【長期視点での経営】

《自主・民主・連帯の精神》【生きる・暮らしを守る・人間らしく生きる】⇒人間尊重の経営

(1) 生きることの保証【民主】〔三つの側面の「ベース・人間観」〕

◇生きる＝生命の尊厳性

生物が個体として尊重される

◎「命の重さ」に差はない

- ・「生きる」そのものに価値がある〔気づきの心・思いやりの心・共育ちの心〕
- ・他人を思いやる心のある企業風土〔働きやすい風土〕

◎人（人格）として認める

- ・長けている個性を生かす＝違いを認める
- ・一人ひとりの持ち味（潜在能力）の発揮⇒一人ひとりの人生観を大切にする

「相対評価」ではない「絶対評価」〔人事評価、業績連動評価、成果主義ではない〕

他人との比較でなく、過去の自分と比べてどれだけ成長したか【目標管理の考え方】

(2) あてにし、あてにされる関係【連帯】〔三つの側面の「社会における生き方・社会観」〕

◇暮らしを守る＝人間の社会性

自分の「存在価値」を、自分自身で感じる

◎一人では生きられない「あてにする」感謝の念

◎「あてにされる」ことの喜び、誇り、更に磨き上げていく充実感〔自分自身で感じる存在価値〕

(3) かけがえのない人生の前面開花【自主】〔三つの側面の「個人における生き方・人生観」〕

◇人間らしく生きる＝個人の尊厳性

その人の持つすべての資質をベストで開花させる

◎無限の可能性－潜在能力を引き出す風土づくり〔人生は一生⇒やりがい・生きがいを感じる人生〕

やらされ感をなくす【潜在能力の発揮】

【何のために・・・その目的は】⇒主体的に、自主的に行動する社員づくり

「know-how（方法・手段）」ではなく、「know-why（目的）」
 何のためにという「目的（Why）」を説明して、
 「君ならどうする」と意見を求める。こちらから答えを出さない。〔傾聴力—信頼関係に通じる〕
 考え、行動するための背景を明確にすれば、社員が「how（方法）」を生み出せる環境が作れる
 【人は育てるものではなく、育つ状態の風土を作り上げる】



2. 社会で、「働く」とは〔学校への期待〕

◎「生きること・学ぶこと・働くこと」を通して、成長を実感（存在価値）し、豊かな人生を送る人は何のために学ぶのか、人は何のために教育をするのか。それは「人が幸せになる」ためである
 私は「人が幸せになる」とは、「豊かな人生を送ることができる」ことだ、と考える

◇仕事における優秀さと、卒業した大学のブランドやそこでの成績とはまったく関係がない

- ユニークな発想（企画・改善）も、独自に状況を判断して動く自主性も弱いことが多い
- 面接の段階では、成績証明書はもらわない・出来るだけ私服を着てくるように！

【先入観をなくす、個性・持ち味を見つける努力】

◇就社ではなく「就職」の意識の徹底を願う

- 自分は、何がやりたいのか、将来像を描かせる
 企業は、入社してからを問う
- 会社説明会から面接を通して、「ゆでガエル」から目を覚まさせる〔手間がかかるのが現実〕
 本人の資質を問う【働くとは・なぜ弊社を選ぶのか】
 最終面接まで、本人の意思を問う（会社はあなたを選ばない→不合格は出さない）
- 経営理念を理解してから入社してもらう
 企業風土に溶け込みやすいようにする
- 理系、文系の意識を薄れさせる【20才位の経験値から未来を決めるな】
 →こだわりをなくす〔企業においては、文系・理系は関係ない・あなたは何か出来るのか〕
 入社してからの個性を生かす（潜在能力を引き出す）ため

◇IQ（知能指数）よりもEQ（感情指数）の高さが求められる

- IQはある程度持って生まれて持っているものだが、EQは努力で伸びる

これからは、人間でしか出来ない仕事が、働く中心になる

（創造性・非定型性・他者への共感や理解、説得や交渉など臨機応変の対応等）

（ジェンダー・ダイバーシティ・インクルージョンへの対応）

◇自分の力で課題を見つけ、解決の道筋を探り、それを実践する力を身につけた人材になる

- 授業の中で、一方的に聞いているだけ、寝ていても注意もしない、

他事をやっても知らんぷり、遅刻や途中退出もほかりっぱなし

- 親に対する教育を施す【親と子供の将来像の共通認識】

学生の学校での態度についての実態

社会や企業が求めているものの実情についての理解

◇総合能力が必要な時代⇒中小企業の活躍による地域（地方）の活性化が求められている

- 一般の小中高大学は両方の教育が必要（多様性を求められる時代に、中途半端な人間に育てない）

一定の学力があれば、個性を生かす育て方に重点を置く

（潜在能力を引き出し、本人の将来像が描ける教育）

- 文系・理系に分けた教育は、専門分野や研究のみに限定する

（そもそも男性の理系志望も少ないが、男女共同参画と言っても女性の理系が少ない）

《大学側の都合に合わせた教育の仕方です卒業生を社会に送り出してきたことを

反省する大学が生き残れる》【危機感を持っている大学】